



コルネリオ会

(防衛関係キリスト者の会)

ニュースレター No. 154

2020年8月



御霊の実

牛込キリスト教会牧師 佐藤 順

A. 「僕は無宗教だから…」

1. 「僕は無宗教だけど、良いクリスマス」と、昨年の12月、元警視庁職員の高校の同級生が言った。日本人は、宗教に入ることを警戒する。それは今日、宗教という、手近には、律法宗教、祭儀宗教、オカルト宗教、御利益宗教しか見られないからであろう。オカルト宗教は事件を起こし、新興宗教の殆どは、御利益があるからといって、金を出させ、結果に対して無責任である。しかし、本当の宗教（信仰）は、この世的な利益のためではなく、神の子としての性質を与えられ、幸せに生きることを可能にする。

2. 神の子としての性質とは、愛、喜び、平安、寛容、親切などであり、聖書ではこれらを、「御霊の実」と言っている。

B. ガラテヤ 5 章 22～23 節

1. 「(22) しかし、御霊の実は、愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、(23) 柔和、自制です。このようなものに反対する律法はありません。」

ガラテヤ 5 章 19～21 節には、「肉のわざ」のリストがある。それらは、性的な乱れ、異教、他人との争い、過度の飲酒に関するものである。そして、「このようなことをしている者たちは神の国を相続できません」(21 節) とある。これは、神の祝福にあずかれない、という意味である。これらの項目は、敢えて善いことをしようと決めない限り、雑草のように自然に発生してしまう。

一方、御霊の実である愛、喜び、平安、寛容、親切、善意などの、他人を愛し、他人に仕えることは、祈りをもって決断しなければできない。これらは、人間的な「わざ」ではなく、キリストを受け入れた謙遜な魂に宿る御霊の働きによって結ばれる実である。これらの良い実こそが律法の目標である。

最初の「愛」は、他の徳の基礎であり、ここにあげられているいくつかの徳は、I コリント 13 章 4～7 節では、愛の特質とされている。新約聖書のいうキリスト者の愛とは、他人を尊び、その価値を認め、他人の

幸せを望むことである。

2. ガラテヤ 5 章 22～23 節の使信

人は自由奔放に生きようとしたときには、畑に雑草が茂るように、悪徳を生み出す。一方、イエス様の十字架によって神の子とされたのだから、その^{あがな}贖いの道を備えられた神の愛に応えたいと、謙遜になったとき、御霊が働き、愛に満ちた徳を実現させていただける。

C. 人間基地に隣接する洋食屋さんで

御霊の実のリストを、道徳のようにとらえ、自分の努力で達成しようとしても困難である。しかし、謙遜な心をもって御霊の導きや祝福を何度も経験していくうちに、私たちは他人への愛を成長させて頂ける。

御霊には三つの働きがある。1) 人の罪を分かせ、2) イエスが救い主だと分かせ、3) 実際に物事を動かす。

四月のある日、航空ファンで求道中の知人に誘われ、人間基地周辺に出かけた。離着陸する航空自衛隊の練習機・輸送機を撮影するためである。昼食は、その方の良く知るステーキ屋を予定していたが、コロナ騒ぎのため閉店中であった。そのため、あてもなく入った洋食屋さんに入ると、そこで出会ったのが、店主のご子息、中学生の K 君である。K 君は神話が大好きで、普段から読みあさっているという。私が「天之御中主神（あめのみなかぬしのかみ）」のことを口にすると、「それは日本神話で最初に出てくる神ですね」と、その神の名を知っていた。これは古事記に出てくる中心的な神で、古事記の編纂にはユダヤ系クリスチャンとされる秦氏が関わっていたので、聖書の神のことであるとお伝えした。また、菊の御紋にある 16 枚の花弁と、旭日旗の 16 本の赤い光線は、 $1+6=7$ となる話をすると、七は聖書的完全数だと言うことも知っていた。厳島神社の鳥居の横には、太陽と三日月のレリーフが飾られている。そして、キリストの処刑のシーンが描かれた宗教画には、どこかに太陽と月が描かれていると説明すると、それも宗教画で見たことがあると

K君は言う。こんなことを知っている中学生は全国に何人いるであろう。K君との出会いは、聖霊のお導きであった。彼には是非、キリストの救いを知ってもらいたいと、新幹線とエルヴィスのトラクト、『聖書を信仰と生活の規範として—Q&A』と『正典的聖書解釈と創世記研究』を差し上げた。

航空自衛隊の飛行機を撮りたい、と出かけると、こんな素敵な出会いが待っていた。このような聖霊によるお導きを体験することで、私たちは人に優しくしたり、平安でいられたりするようになる。つまり、御霊の実である、愛の性質を成長させていただけるのだ。

日本での伝道活動は、なかなか実らないと多くの伝道者が嘆いてきた。また、明治以降 100 年以上経ってもクリスチャンの数が増えない原因はなんであろうかと、宗教学者たちが真剣に研究している。そうこうしているうちに、オウム真理教のサリン事件以来、キリスト教に対してのみならず、日本人の宗教嫌いは決定的なものとなってしまった。また、戦後の日本では、「日の丸」を嫌うことが、日本人クリスチャンとして正しいことであるかのような風潮がある。これらの背景には、何か大きな存在があり、日本人をキリストの真理から遠ざけようとする意図的な計略があるので、と思いたくなるほどである。

日本人を聖書から遠ざけてしまう原因になりかねないのが、聖書の逐次靈感説であろう。聖書は神の言葉であるから、一字一句誤りがない、としたい気持ちは分かるが、古典である聖書を、何の前知識もなく読み込むことは危険ですらある。例えば、創世記が書かれたのは、バビロン捕囚の時代であった。捕らわれの身となったイスラエルの民は、自分たちが聞かされてきた唯一神ではなく、バビロニアの神々に帰依し始めた。このバビロニアでは、新年に七日間に渡ってアキツ祭が行われ、バビロニアの祭司たちは、バビロニアの天地創造物語を朗唱した。そこで、古代イスラエルの預言者と祭司は、これと対決し、七日間のアキツ祭の日数に割り当てて、唯一の真の神が天地を創造されたことを宣言したのだった。これが創世記の七日間に

渡る天地創造物語である。そのため、バビロニアと創世記の天地創造物語には、類似点があるのだ。このような聖書考古学的な研究をせず、数字をそのまま受け止めると、神が 24 時間×6 日で天地宇宙を作り上げ、七日目に休まれたということになる。そして、アダムの創造から家系譜を計算すると、今から数千年前に天地が創造されたことになるという。これは、古代ヘブル語の数字には、数学的概念は一切ないという事実を無視した読み方である。そもそも聖書は、魂の救いのための本であり、天地創造の過程を知るための本ではない。こんなことを問題にするのは、未だに「地動説か天動説か」と議論するようなものであり、そんな薄っぺらな神学では、良識的な日本人を信仰へ導くことは困難を極めるであろう。

コルネリオ会は、日本国を愛する人たち、即ち、国のために命を捧げたクリスチャンの集まりである。そして、「戈を止める」ことが最終目的である武士道を基盤とした、平和を愛する集団である。更に、自衛官は常に最先端の技術を使いこなす「科学者」である。このような方々が、自然科学となら矛盾しない聖書解釈を研究し、日本国を愛する心を以て伝道するならば、この国の人々に、ひいては世界に、正しく福音を宣べ伝えることができるであろう。

伝道するのに、職場において聖書の話をしたり、説教したりする必要はない。一人ひとりが、聖霊の実をもって人と接することが、キリストの愛を宣べ伝えることになるのだ。

D. 結び

1. イエス様に救われた者は、謙遜な心と魂を持つ。そこには聖霊が働き、愛の徳を実現させて頂ける。
2. 御霊の実を結ばせていただき、神の愛をもって人々が愛し合う世界を実現させて頂こう。

〔参考文献〕

蓮見和男『ガラテヤ書・エペソ書』（新教出版社）、C.J. デン・ヘイヤール『ガラテヤ人への手紙』（教文館）、C.B. カウザー『ガラテヤの信徒への手紙』（日本キリスト教団出版局）

2020年度総会報告

コルネリオ会 圓林 栄喜

6月13日(土)、2020年度コルネリオ会総会をスカイプで実施し、2019年度の活動報告・会計報告と2020年度の活動計画・予算計画及び役員人事の審議を行いました。

2020年度の活動計画、役員人事、会計決算及び予算は次のようになっています。異議のある方は会長（石川信隆）宛て1ヶ月以内に申し立ててください。

1 2020年度コルネリオ会活動計画

1 方針

2020年度コルネリオ会の聖句：

「御霊の実は、愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、柔和、自制です。」（ガラテヤ5：22-23）

毎朝デボーションによって聖霊の力を得て、この聖句を実行できるように祈っていく。

2. 具体的活動

(1) 例会

ア 例会は、原則として毎月第2土曜日に開催する。ただし、2020年は1月下旬からコロナウイルスが感染し始め、日本・世界に蔓延している現状に鑑み、早急な終息を主に祈るとともに、メールおよびスカイプ会議またはズーム会議（司会：尾崎伸作兄）を通して、学びを充実する。

イ 学び会は AMCF のテキスト（Inductive Bible Study; 2020年度はヨハネ4章から1章ずつ）に従い、会員の霊的成長につながる学び会とする。

また聖書の学びに加え、祈り会によって現役会員の使命が達成されること、またコルネリオ会の魅力化を図る。

ウ 新来訪者を歓迎し、共に学び交わる環境を醸成していく。

(2) 広報

ア 会員の証しや学び会での恵み等、ニュースレターの記事をさらに会員の霊的成長につなげる内容に改善し、会員の活動への参画意欲を醸成して行く。

イ 中央からの情報発信だけでなく、地方でのコルネリオ会活動（沖縄支部・関西支部・東北支部、アメリカ支部）の情報提供にも心がける。

(3) 宣教

ア ホームページにコルネリオ会の例会・総会の議事録を載せる。また各国AMCF等のホームページの日本語での紹介等を実施して会員等が活用しやすいホームページ作りに着意する。

イ 韓国軍人クリスチャンおよび防大生との交わりを継続し、信仰を深め励まし合う。

ウ 宣教団体との協力を継続し、会員の霊的成長につながる情報を提供していく。

(4) 国外活動への参加と支援

ア AMCF（世界軍人キリスト者の会）及び ACCTS（AMCFの教育支援機関）および MSO（韓国）の宣教支援団体との連絡・調整を維持し、相互の意思疎通を図る。

イ 2020年 EA Interaction (10月15日-17日、台湾高雄、テーマ: How to build up military evangelical mission、Hong-Fu Chen 台湾会長) の開催に参加する関博之兄と荻原洋聡兄を支援するとともに、世界軍人クリスチャンの会との親善に努める。【注】コロナの影響により1年延期となった。

ウ ACCTS (アメリカ、リック・ライレス元大佐)

および MSO (韓国、オー教授)、世界会長 (スリアル・ウィーラーソーリヤ (スリランカ))、東アジア副会長 (Andrew Tzeng (台湾))、モンゴル (スマヤ会長) などとの交流を継続する。

2 役員人事

役職	2020年度
会長	石川信隆
副会長	今市宗雄、中野久永
総務	森川拓弥、圓林栄喜、尾崎伸作
企画	関博之、荻原洋聡、加瀬典史・真弓
渉外	中野久永、藪内隆志
広報	圓林栄喜、芝 祐治、 中岡一秀 (地域教会協力)、 宮田皓旦 (地域教会協力)、 海野幹郎 (国内広報)、 中村誠一 (沖縄支部)、 常盤一崇 (関西支部)、 中野久永 (アメリカ支部)
会計	長濱貴志
監査	中岡一秀
教職顧問	佐藤順、金学根、井草晋一、徳梅陽介

3 2019年度決算

(2019. 4. 1 ~ 2020. 3. 31)

1 収入	献金一般	¥218,500
	クリスマス献金	¥5,000
	利息	¥0
	2019アジア大会準備金(2018年度分)	¥600,000
	前年度繰越金	¥889,355
	合計	¥1,712,855
2 支出	講師・謝礼費	¥25,000
	ニュースレター作成・発送費	¥63,691
	新聞雑誌広告費	¥0
	集会費・例会会議費	¥39,000
	慶弔費	¥16,500
	接待交際費	¥27,361
	旅費・交通費	¥2,000
	事務通信費(はがき・切手等)	¥15,644
	雑費(振り込み手数料)	¥7,700
	献金(国内教会・海外へ)	¥25,000
	アジア大会へ補助	¥101,044
	小計	¥820,921
	2020年度への繰越	¥1,389,915
	合計	¥1,712,855

献金感謝 (2020. 4. 1-2020. 7. 31)

皆様の献金を心から感謝します。

飯塚正美、矢田部和子、滝口巖太郎、吉田靖、
康田洋子、山下和雄、北川政雄、内山義彦・和子、
本名悠也、石川明人、石井克直、長橋和彦、
常盤一崇、佐藤順、中野久永、圓林栄喜・さゆり

4 2020年度予算

(2020. 4. 1～2021. 3. 31)

1 収入	献金一般	¥250,000
	クリスマス献金	¥5,000
	利息	¥10
	前年度繰り越し	¥1,389,915
	合計	¥1,644,925
2 支出	講師等への謝礼・支援費	¥30,000
	ニュースレター作成・発送費	¥45,000
	新聞雑誌広告費	¥20,000
	集会／例会費	¥36,000
	慶弔費	¥20,000
	接待交際費	¥20,000
	旅費・交通費	¥20,000
	事務通信費(はがき、切手等)	¥15,000
	雑費(振り込み手数料)	¥10,000
	献金(国内・国外教会へ)	¥20,000
	2020 東アジア Interaction 支援	¥80,000
	次年度への繰越	¥1,328,925
	合計	¥1,644,925
	次年度繰越金	¥1,328,925

矢田部稔兄を偲んで

コルネリオ会副会長 今市宗雄

私は、陸自幹部学校教官時代、尾山謙仁牧師とルカ15章(放蕩息子)の学びをしていた時に救われました。み言葉は、「お父さん。私は天に対して罪を犯し、またあなたの前に罪を犯しました。あなたの子と呼ばれる資格はありません。雇人の一人にしてください。」(ルカ 15:18-19)でした。

主に救われて平成元年の新年礼拝に高田馬場にあった親教会に出席しました。グループの主任牧師の開口一番は、「大嘗祭は平成天皇が神になる儀式です。各教会に反対の署名用紙を配布してあるので参加してください。」との衝撃的な言葉でした。

その夜、同じ陸自幹部学校の研究室長の矢田部兄に相談の電話をしました。当時私は教育部の教官で、研究部の室長が自衛隊のキリスト教関係(コルネリオ会のこと)の役員である旨を耳にしていたからでした。

「貴方の言われることは、良くわかります。折角の信仰も失いかねません。貴方の教会は、未だましな方なのです。コルネリオ会にいらっしやい。」と慰めて頂きました。

数々の思い出の中で、後年私がコルネリオ会の会長になって間もない聖書の学び会の終わりに「結論は？」と迫って来られました。「御心に人が結論など出せません。」と答えたことが浮かびます。これまでコルネリオ会から多くの恵みを受け、現在も活動を継続させていただいているのは、自衛官クリスチャンとして生涯を全うされた矢田部兄のあの一言「コルネリオ会にいらっしやい」であると、心か

ら感謝しています。天国での再会を楽しみにしています。

矢田部コルネリオ会名誉会長を偲んで

コルネリオ会副会長 中野久永

私は、1992年に三鷹市にあるTEAMセンターにて行われましたコルネリオ会修養会(6/13-14)に参加をし、そこで初めて矢田部氏とお会いしました。

この修養会におきまして矢田部氏が第6代コルネリオ会会長に就任することが決められました。

矢田部氏とは、同年に台湾での東アジア軍人キリスト者大会(11/16-20)に参加、同行させて頂きました。

翌年に私共の結婚式及び披露宴(1/16)に矢田部ご夫妻を新郎の主賓として出席して頂きました。

そして、毎月の定例会、東アジア大会準備委員会、在日米軍基地米軍将校との交流会、1995年の小生の米国陸軍上級曹長アカデミー留学中における祈りとニュースレターを送って頂いたこと、お正月には、矢田部氏の千葉県柏市のご自宅に米軍クリスチャン将校と共にご招待をして頂きました。また、小生の自宅にて定例会を実施した時もわざわざご自宅から足を運んで頂きました。

1995年8月第2回アジア大テーマ「主を求めて生きよ」アモス5:6は、今でも矢田部氏がこのみ言葉を力強く我々に語っておられるように思っています。矢田部氏は、現役自衛官の司令官職、幕僚職の経験を通じて常にキリスト者として祈りと信仰をしっかりと保持していたと確信いたします。そして全国の各基地、駐屯地等で日夜、国防任務に配置されているところのコルネリオ会員の為にお祈りをされ、定例会の祈りには、このことがいつも加えられていました。また先に召天されました松原兄についてもご心労されたことを私は覚えております。私が松原兄の結婚式に参列したこと、最後の駐屯地が同じであったことからこのことがわかりました。

これまで28年間の矢田部氏との様々な機会、交わりを通じてクリスチャン自衛官のあるべき姿(信仰)を最後の最後まで教えて頂きました。矢田部コルネリオ会名誉会長、今まで本当に自衛官キリスト者として、多くの人々と関わって頂き、コルネリオ会をどこまでも愛していただき感謝申し上げます。聖書のお約束の通り御国での再会を楽しみにしております。アーメン

(編集子)コルネリオニュースを読んで皆様のご感想または近況報告をお待ちしています。

宛先:jmcfusa@gmail.com (中野久永)